

今、石炭を考える 「化石が現われたみたい」

大阪で三池のはなしを聞く会



「三池労働の方を連れて、炭鉱マンの今の暮らし、そして石炭とこれからの日本のエネルギー問題などのお話を聞いて一緒に考えてみませんか? 三池争議から今年三十周年の節目なんですよ」

ある日、人見さんからそういうお声がかかった。正直言って最後という言葉にドキッ。あれからもう三十年経つなんて……

このような一人ひとりの呼びかけで五月十九日、大阪市立社会福祉センターで「今、石炭を考える」をテーマに、さまざまな職業を持った人や主婦など約三十人(三池のはなしを聞く会)代表、人見和子さん・大阪市立労働婦人センター副館長)が集まり、三池労組の森労働部長から現在の石炭を取り巻く状況や、三池争議から三十年目を迎える三池炭鉱の現状までを聞き、話し合われました。

「化石が現われたみたい」といふように、三池も私にとっても古い過去の時代のものでした。しかし石炭も、三池の皆さんも、どっこ生きていた。んで日本の片隅で、自らの生活と命を守るためのたたかいと合わせて、日本のエネルギーの将来を真剣に考えている人達がいることに、感銘を受けました。それにして高度経済成長に浮かれ、目の前の利益追及にきゅうきゅうとわすれ、大企業中心型の労働組合運動がまかり通っている現状とは、嘆かかた。改めて考えています。元労働組合員の一人として、真の労働者の運命とは何かを、改めて考えています。お元気で活躍されるよう祈っています。

なごについて熱心な交流がおこなわれました。

石炭の存在そのものに始めて接したという人を含めて、このように石炭と三池に関心が寄せられていることに、新たに私たちの運動の歩幅について考えさせられるとともに、今後の活動のあり方への決意を迫られる思いです。(森部長の報告を聞いて)

また、会として参加の動機・感想、森さんと、三池労働の皆さんへのメッセージなどをアンケートとしてまとめられたなかに、「石炭」や「三池労働」の言葉を聞いて、化石が現われたみたいだ」「エネルギー・安保」の視点から考えさせられる話」とありました。



姿見

少し前のことですが、婦人問題を考える大牟田の集いが三月二十五日、文化会館で講師に女優の佐々木愛さんを迎えて開かれました。

その中で、男女同権とはいっても、女性が仕事を持つための家庭と仕事の両立のむづかしさを、自分の経験にもとづいて話されました。

夫たちの、差別と低賃金による赤字家計の暮らしの中で、私

も赤字補填のための内職が本職となり、早いもので二十七年と一歳月が過ぎましたが、主婦会運動や家事も一生懸命にやってきました。

佐々木さんの話を聞きながら、

この矛盾が腹立たしくなりまして、

集いを終えて、当日大牟田駅前の清算事業団の国労家族会のハンスト抗議座り込みに参加しました。

私達は、三十年前の三池闘争の時には、全国からのカンパで一万円生活を続けました。

いま、国労を支援する会や物販には協力していますが、今後も解雇撤回に向けて頑張ってもらいたいと思います。

三池も、第八次政策が四年目に入り、九次策に向けての審議が始まるというところですが、現有炭鉱の維持・存続のたたかいを強めなければなりません。

「働く者の団結で、命と暮らしを守ろう」のスローガンのもとに、国労の仲間と連帯してたたかおうではありませんか。

共働きの中で

大牟田ブロック 山本 恵美子

男女同権とはいいながら、職場でも家庭でも、女性が仕事を持つことのむづかしさに同感しました。でも、今の世の中は、共働きしなければ生活ができません。子供の教育もできません。いざ、どんなに心細くても

風が強くと、とても寒い日でした。若い人たちが、中には妊娠した方も居られて、皆んな懸命にがんばっていました。

総評も解散した中でのたたかたかおつではありませぬか。

あほだら



闘争資金づくりにご協力を 昨年好評の島原ソーメンを販売

三年連続の人員削減合理化をたたく、今後の石炭情勢が不透明な中で、九次策確立と不当解雇裁判闘争の勝利をめざすたための資金づくりのために、今年も島原ソーメンの物販活動に取り組みます。四季を通じての常備食に、またお中元などの贈答品にも最適です。包装紙も準備しています。組合事務所へ。

島原手延べ素麺 四季の花
50g×20束、箱入り
市価 2,000円を 1,000円でお頒けします。

三池不当解雇訴訟団 定期総会お知らせ

とき 7月27日(金) 午前10時
ところ 三池労働組合事務所

囲碁大会成績

六月二十四日に催された囲碁愛好会の囲碁大会の結果は次のとおりでした。(ハンディ戦)

A組
1位 沖 克太郎 (五分金)
2位 久保田 勝男 (一分金)
3位 高木 哲雄 (四分金)

B組
1位 井上 文雄 (五分金)
2位 蓮尾 与七 (〇B)
3位 西原 隆寛 (四分金)

なお、対戦成績を集計の結果、総合優勝は井上文雄さんでした。

集中豪雨で被害続出

7月2日の豪雨は大牟田で降り始め(29日)から500mmを越し、荒尾でも400mm近い記録的な雨量で、各地で被害が出ました。組合でも調査、救援、対策などに取り組みましたが、早急な復旧をねがい、被災された皆さんに心からお見舞い申し上げます。



小浜南社宅で二日、十時半ごろ

敬 弔

花島カネ子さん(11・9歳) 遺族(79歳) かねて療養中の三井病院で七月二日、午後五時ごろ心不全で死去。葬儀は四日、玉泉院で。遺族は大牟田市小川町三〇の五〇一の二に◎島敬三さん。心から哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りいたします。

短 信

生産量 840 万トン

本年度合理化計画決まる

通産省・資源エネルギー庁は六月二十日、石炭産業審議会政策・経営合同部会を開き、本年度の石炭産業合理化実施計画を報告、了承されました。それによると、本年度の国内炭の供給規模見直しは、前年度実績から百四十二万トン減の九百四十万トンで初めて一千万トンを割る内容。内訳は生産八百四十万トン、雑炭百万トン。

生産量八百四十万トンは、前年度比百二十三万トン減です。四月末の石炭需給・価格部会で本年度の需要量を千九十一万トンと設定、供給との不足分百五十一万トンは貯炭取り崩しで対応する方針で、これによって過剰貯炭は本年度末には約百六十五万トンに圧縮される見通しです。

八次策最終年度となる来年度需要量は再削減の公算が大きく、過剰貯炭の九割をかかえる三池の厳しい環境は続き、今後の雑炭減らしと、需要先確保の推進が大きな課題となっています。

川柳

竹とんぼ

結婚式ファイバーに
スイッチ切る
炎天下球児の夢は
甲子園
ナイターは敗者巨人が
面白い
(職場新聞「きずな」七月十三日発行から)

九次策九月諮問へ

衆議院特委で武藤通産相
武藤通産相は六月二十二日の

暑中御見舞い申し上げます

「守る会」の皆さん、読者の皆さん、暑さのなかで健康のことと存じます。ともに頑張りましょう。

三池炭鉱労働組合
組合長 中原 一・他役員一同
三池大災害遺族CO患者を守る会
三池不当解雇訴訟団